

資料②

正常児の家庭環境に関する研究（その1）

*内藤 寿七郎 *高橋 種昭 *中 一 郎
塩川 寿平 *伊藤 玲子 ***佐々木 芳枝
（本荘市，岩城町，鳥海村，西目村，道川保育所，亀田保育所，西目保育所，石沢保育園，松カ崎保育園）

I 研究目的

乳幼児期の子どもの心身の発達や性格形成にとって、家庭環境というものが大きな影響を及ぼすことは、今更いうまでもないが、一口に家庭環境といっても、階層、文化、地域などを異にすれば、その構造、性格、内容などは当然大きな違いがみられることが考えられるし、現在のような変動の激しい社会にあってはなおそうである。

昭和48年厚生科学研究の心身障害児研究の一分野として、正常児の家庭環境の調査を実施することとなった。今回の調査は、以上のことを考慮しながら、乳幼児期の子どもたちが現在どのような家庭環境の中で生活しているかを調べると共に、そこに生じている種々の問題について、その実態を明らかにしたい。

II 研究方法

東京都，静岡県，秋田県の三地域を調査対象地区に選び、乳幼児をもつ家庭についてその現状を調査すると共に、それぞれの地域の家庭環境の中で発生している種々の問題点について報告を求めた。

調査は、共通の質問紙（別紙）を実施すると共に、日常子どもの保育や保健指導に当たっている人々に、その地域における家庭環境の実態や問題点について報告や意見を求めるための面接調査を実施した。

この場合、東京都は大都市，静岡県は工業地帯（最近開発が急速に進んでいる中小都市の多くを抱え、農漁村と工業地帯とが混在），秋田県は農村の代表となる。

III 調査実施時期，対象

調査は昭和48年2月～3月である。対象の選定は、各地区、次のように行なわれた。

A 東京都の場合

愛育病院，賛育会病院の保健指導来所ケース，幼稚園，保育所の子どもの家庭に、質問紙4500枚を配布し、約2400の回答を得た。対象とした子どもの年齢は0才から6才までの乳幼児であり、山の手地区，下町地区の間では、かなりの地域差がみられる事が予想されたので、偏らぬように配慮して対象を選んだ。また、面接調査については、山の手地区，下町地区の子どもについてくわしい病院の保健婦，助産婦，幼稚園，保育所の保母に参加してもらい、病院や、幼稚園などにおいて会合し報告を求めた。

B 静岡県の場合

静岡県立厚生学院塩川寿平氏を中心にして、県下の子どもの家庭環境に関する調査資料をもとにした現状分析を行なうと共に、富士宮市及びその近郊の地域の家庭を対象に、中小都市の乳幼児の生活，家庭環境について質問紙調査を実施した。

C 秋田県の場合

当衛生科学研究所母子衛生科が中心となり、由利郡の9保育所において、母親を対象に質問紙調査を行ない、目標を600件として、保育所（実施率100%）不足分を、保育所所在地の町村の乳児を対象に実施した。対象として依頼した母親は、ほとんど解答が得られたが、記載不備を除き、調査資料として得られたのは786件である。なお、対象となった町村管轄保健所，町村の保健婦ならびに保育所保母の合同座談会を行ない、子どもの家庭環境について話し合いを行なった。

以下、3地域の比較表を示したので、関係者の参考にしていただければ幸いです。なお、この集計は、すべ

て日本総合愛育研究所第7研究部の指導の下に一括集計されたものである。

お 願 い

各質問内の答（イロハ……）の中からあてはまるものを選んで一つだけ丸をつけて下さい。

（ ）内はできるだけ具体的に記入願います。

記入者〔母・父・祖母・祖父・その他（ ）〕

あなたの住所（ ）都（ ）郡（ ）区（ ）市（ ）町（ ）村（ ）

お子さんの年齢と性別 年齢（ ）才 性別 男・女

御家族について（同居している人全員について記入して下さい）

※子どもの世話としつけを主にする人は誰ですか。備考の欄に○印をつけて下さい。

続柄	年齢	職業	学歴	備考
	才			
	才			
	才			
	才			
	才			
	才			

①住居についておききます

a. 住居の種類はどれですか。

イ. 自家（独立家） ロ. 自家（マンション・分譲） ハ. 借家（一軒家） ニ. 団地 ホ. アパート（住宅） ヘ. 間借り ト. その他（ ）

b. 広さ（建坪）はどの位ありますか。

イ. 16.5㎡（5坪）以下 ロ. 16.6～33.0㎡（5～10坪） ハ. 33.0～49.5㎡（10～15坪）
ニ. 49.6～66㎡（15～20坪） ホ. 66～99㎡（20～30坪） ヘ. 99㎡（30坪）以上（ ）㎡

c. 部屋数（台所、食堂を除く）はいくつありますか。

イ. 1間 ロ. 2間 ハ. 3間 ニ. 4間 ホ. 5間以上（ ）間

d. どんな構造ですか。

イ. 鉄筋 ロ. 木造 ハ. プレハブ ニ. その他（ ）

e. 日あたりはよいですか。

イ. よい ロ. ふつう ハ. わるい

f. 現在使っている冷暖房器具はどれですか。

暖房器具 イ. ガスストーブ ロ. 石油ストーブ ハ. 電気ストーブ ニ. こたつ
ホ. セントラルヒーティング ヘ. その他（ ）

冷房器具 イ. 扇風機 ロ. クーラー ハ. 特になし ニ. その他（ ）

g. 近所の環境はどんなですか。

イ. 住宅地 ロ. 商店街 ハ. 工場地帯 ニ. 農山漁村 ホ. その他（ ）

h. 騒音（車、飛行機及び工場などの騒音）がありますか。

イ. 非常にうるさい ロ. ややうるさい ハ. ほとんどない

②お子さんの遊びについておききます

a. おたくには子ども専用の遊び部屋（子ども部屋を含む）がありますか。

イ. ある ロ. ない

b. 家の中で子どもが遊ぶ時、その相手を誰がしますか。

イ. 父 ロ. 母 ハ. きょうだい ニ. 祖母 ホ. 祖父 ヘ. 友人 ト. その他（ ）

c. お子さんがふだん使っているおもちゃの中から主なものを3つあげて下さい。

（ ） （ ） （ ）

d. 主にだれがお子さんにおもちゃを買ってきますか。

イ. 父 ロ. 母 ハ. 祖父母 ニ. その他 ()

e. はじめてお子さんに与えたおもちゃは何ですか。

イ. ガラガラ ロ. メリー風車 ハ. おしゃぶり ニ. ボール ホ. くるま ヘ. 絵本
ト. おきあがり チ. 笛・ラッパ類 リ. その他 ()

f. お子さんがいくつになった時に、はじめておもちゃを与えましたか。

イ. 生後すぐ ロ. 生後1ヶ月頃 ハ. 生後2～3ヶ月頃 ニ. 生後4～6ヶ月頃 ホ. 生後7～19ヶ月頃
ヘ. 生後10～12ヶ月頃 ト. 生後1年～1年半頃 チ. 生後1年半～2年頃 リ. 生後2年以後 (年)

③育児についておききます

a. お父さんとお母さんが育児について話し合われることがありますか。

イ. 殆んどない ロ. 時々はある ハ. よく話す

b. お父さんは育児にどのくらい関心をもっていますか。

イ. 強い ロ. ふつう ハ. 無関心

c. お父さんはお子さんにどんなことをしてあげますか。

イ. 食事の世話 ロ. 入浴の世話 ハ. 大小便の世話 ニ. 着・脱衣の世話 ホ. 遊びの相手
ヘ. 何もしない ト. その他 ()

d. お父さんはお子さんのしつけに対してどんなですか。

イ. 厳しい ロ. ふつう ハ. 甘い

e. お父さんはお子さんと一緒に食事をすることがありますか。

イ. 三食とも一緒にする ロ. 朝食だけ一緒 ハ. 夕食だけ一緒 ニ. 朝・夕食を一緒にする
ホ. 一緒に食事することはあまりない ヘ. その他 ()

f. お母さんはしつけに対してどのようにしていますか。

イ. 厳しい ロ. ふつう ハ. 甘い

g. お母さんは一日にどの位の時間お子さんの相手になってあげますか。

イ. 殆んどない ロ. 30分位 ハ. 1時間位 ニ. 2時間位 ホ. 3時間以上 () 時間

h. お子さんは夜誰とねますか。

イ. 子どもだけ別の部屋にねる ロ. 親や祖父母と一緒にねる (床は別) (一緒の床)

i. 子ども用の便器がありますか。

イ. ある ロ. ない

j. 子ども用のベッドがありますか。

イ. ある ロ. ない

k. 子ども用の衣類をお母さんがつくることがありますか。

イ. ない ロ. ある=それはどんなものですか ()

l. お子さんが一日のうちでテレビをみる時間はどの位ですか。

イ. 殆んどみない ロ. 30分以内 ハ. 30分～1時間 ニ. 1時間～2時間 ホ. 2時間～3時間
ヘ. 3時間以上 () 時間

m. 食事中テレビをみせますか。

イ. みせる ロ. みせない

n. お母さんの育児に関する知識は主にどこからえられましたか。

イ. テレビ・ラジオ ロ. 新聞・雑誌 ハ. 医師・保健婦 ニ. 祖父母・親類
ホ. 近所の人・友人 ヘ. 育児書 ト. その他 ()

④お母さんにおききます

a. 起床 () 時 ・ 就寝 () 時

b. 赤ちゃんを育てる人

イ. 本人 ロ. 祖母 ハ. その他 ()

c. 新聞を毎日見ますか。

イ. はい ロ. いいえ ハ. 時々

表1 記入者

続柄	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
母		518	77.2	854	82.9	460	58.5	1,832	73.7
父		39	5.8	68	6.6	137	17.4	244	9.8
祖母		0		39	3.8	16	2.0	55	2.2
祖父		0		5	0.5	12	1.5	17	0.7
その他		5	0.7	5	0.5	5	0.6	15	0.6
NO. ANS		109	16.2	59	6.7	156	19.8	324	13.0
計		671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

アンケートの回答者は、特に誰と指定しなかったが、やや多い。
大半は母親による記入で、秋田は他に比し父の記入者が

A 家族構成 父母の年齢など

表2 家族数

人数	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
～ 3		191	28.5	135	13.1	63	8.0	389	15.6
4		234	34.9	428	41.6	150	19.1	812	32.6
5		138	20.6	222	21.6	210	26.7	570	22.9
6		58	8.6	141	13.7	210	26.7	409	16.4
7		24	3.6	83	8.1	119	15.1	226	9.1
8～		5	0.7	20	1.9	29	3.7	54	2.2
NO. ANS		21	3.1	1	1.1	5	0.6	27	1.1
計		671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

家族数は秋田が多く、7人をこえる家族が20%近く、東京の場合僅かに4%である。

表3 祖父母の有無

続柄	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
祖父		9	1.3	20	1.9	22	2.8	51	2.1
祖母		70	10.4	145	14.1	159	20.2	374	15.0
祖父・祖母		56	8.3	190	18.4	378	48.1	624	25.1
なし		479	71.4	675	65.5	223	28.4	1,377	55.4
NO. ANS		57	8.5	0		4	0.5	61	2.5
計		671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

秋田は、約70%の家庭が祖父母と同居している。東京は同居家庭は約20%、静岡は約34%である。

表4 子どもの数

人数	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
1		238	35.5	240	23.3	259	33.0	737	29.6
2		294	43.8	569	55.2	395	50.3	1,258	50.6
3		107	15.9	204	19.8	119	15.1	430	17.3
4~		11	1.6	17	1.7	10	1.3	38	1.5
NO. ANS		21	3.1	0		3	0.4	24	1.0
計		671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

子どもの数は、各地域とも同じ傾向をみせ、2人兄弟が定着している感じである。

表5 父母の年齢構成

(父 親)

(母 親)

年齢	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計		東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%
~ 19		0		0		0		0		0		0		0		0	
20 ~ 24		4	0.6	14	1.4	44	5.6	62	2.5	23	3.4	68	6.6	149	19.0	240	9.7
25 ~ 29		92	13.7	174	16.9	211	26.8	477	19.2	199	29.7	412	40.0	323	41.1	934	37.6
30 ~ 34		218	32.5	463	45.0	274	34.9	955	38.4	267	39.8	434	42.1	226	28.8	927	37.3
35 ~ 39		215	32.0	306	29.7	172	21.9	693	27.9	115	17.1	93	9.0	61	7.8	269	10.8
40 ~		106	15.8	52	5.0	45	5.7	203	8.2	34	5.1	14	1.4	11	1.4	59	2.4
NO. ANS		36	5.4	21	2.0	40	5.1	97	3.9	33	4.9	9	0.9	16	1.8	58	2.3
計		671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0	671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

調査対象が乳幼児ということもあり、父母の年齢は父親が30~39才、母親が25~35才の年齢層のものがほとんどを占めている。

表6 父母の学歴

(父 親)

(母 親)

学歴	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計		東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%
小 卒		0		0		6	0.8	6	0.2	0		0		3	0.4	3	0.1
中 卒		78	11.6	269	26.1	274	34.9	621	25.0	86	12.8	262	25.4	302	38.4	650	26.1
高 卒		176	26.2	428	41.6	266	33.8	870	35.0	255	38.0	486	47.2	261	33.2	1,002	40.3
高 中 退		6	0.9	6	0.6	8	1.0	20	0.8	3	0.4	3	0.3	6	0.8	12	0.5
大 卒		216	32.2	151	14.7	44	5.6	411	16.5	133	19.8	75	7.3	29	3.7	237	9.5
大 中 退		2	0.3	2	0.2	1	0.1	5	0.2	1	0.1	1	0.1	0		2	0.1
各種学校		5	0.7	3	0.3	6	0.8	14	0.6	9	1.3	11	1.1	15	1.9	35	1.4

その他	15	2.2	7	0.7	0	22	0.9	9	1.3	10	1.0	2	0.3	21	0.8	
NO. ANS	173	25.8	164	15.9	181	23.0	518	20.8	175	26.1	182	17.7	168	21.4	525	21.1
計	671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0	671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

東京の場合は両親共学歴が高く、大学卒が父親32%、母親20%もいる。秋田は両親とも中・高卒が大半を占めている。

表7 父母の職業別構成
(父 親) (母 親)

職業	東 京		静 岡		秋 田		計		東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%
会 社 員	342	51.0	567	55.0	174	22.1	1,083	43.5	77	11.5	66	6.4	120	15.3	263	10.6
公 務 員	36	5.4	81	7.9	87	11.1	204	8.2	12	1.8	45	4.4	31	3.9	88	3.5
自 営 業	152	22.7	167	16.2	47	6.0	366	14.7	88	13.1	63	6.1	28	3.6	179	7.2
筋肉労働者	29	4.3	119	11.6	127	16.2	275	11.1	3	0.4	5	0.5	33	4.2	41	1.6
教 員	17	2.5	20	1.9	18	2.3	55	2.2	6	0.9	9	0.9	6	0.8	21	0.8
医 師	6	0.9	5	0.5	3	0.4	14	0.6	1	0.1	0	0	0	0	1	0.0
農 業	0		13	1.3	219	27.9	232	9.3	0		19	1.8	263	33.5	282	11.3
漁 業	0		1	0.1	40	5.1	41	1.6	0		0	0	0	0	0	0
林 業	0		0		3	0.4	3	0.1	0		0	0	0	0	0	0
看護婦・保母	0		0		0		0		11	1.6	18	1.7	19	2.4	48	1.9
自 由 業	7	1.0	6	0.6	0		13	0.5	2	0.3	3	0.3	2	0.3	7	0.3
そ の 他	31	4.6	23	2.2	14	1.8	68	2.7	346	51.6	622	60.4	242	30.8	1,210	48.7
NO. ANS	51	7.6	28	2.7	54	6.9	133	5.3	125	18.6	180	17.5	42	5.3	347	14.0
計	671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0	671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

秋田の場合もかなり多くの会社員がいるが、民間企業労働者も含まれている。勤務もすべて会社員としたため、中にはかなりの筋肉労働者も含まれている。

B 住居、環境について

表8 住居の種類

種類	東 京		静 岡		秋 田		計		備 考
	件	%	件	%	件	%	件	%	
イ. 自 家 (独立)	257	38.3	675	65.5	677	86.1	1,609	64.7	
ロ. 自 家	64	9.5	12	1.2	9	1.1	85	3.4	マンション分譲
ハ. 借 家 (一軒)	84	12.5	208	20.2	55	7.0	347	14.0	
ニ. 団 地	52	7.7	10	1.0	8	1.0	70	2.8	
ホ. アパート (社宅)	180	26.8	99	9.6	18	2.3	297	11.9	
ヘ. 間 借 り	20	3.0	9	0.9	6	0.8	35	1.4	
ト. そ の 他	10	1.5	9	0.9	6	0.8	25	1.0	

NO. ANS	4	0.6	8	0.8	7	0.9	19	0.8
計	671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

秋田は約86%が自家で、借家、アパートなどが他より 少ない。

表9 住居の広さ(建坪)

地域 建坪 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ. ~16.5m ² (5坪)	42	6.3	11	1.1	2	0.3	55	2.2
ロ. 16.6~33.0(5~10)	127	18.9	123	11.9	28	3.6	278	11.2
ハ. 33.0~49.5(10~15)	138	20.6	224	21.7	44	5.6	406	16.3
ニ. 49.6~66.0(15~20)	94	14.0	133	12.9	45	5.7	272	10.9
ホ. 66.0~99.0(20~30)	110	16.4	223	21.7	164	20.9	497	20.0
ヘ. 99.0~ (30~)	82	12.2	249	24.2	427	54.3	758	30.5
NO. ANS	78	11.6	67	6.5	76	9.7	221	8.9
計	671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

表10 部屋数(台所、食堂を除く)

地域 間数 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 1	64	9.5	9	0.9	5	0.6	78	3.1
ロ. 2	250	37.3	244	23.7	58	7.4	552	22.2
ハ. 3	159	23.7	257	25.0	78	9.9	494	19.9
ニ. 4	93	13.9	218	21.2	146	18.6	457	18.4
ホ. 5~	105	15.6	298	28.9	488	62.1	891	35.8
NO. ANS	0		4	0.4	11	1.4	15	0.6
計	671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

東京は非常にせまい環境で生活している家庭が多く、 である。

秋田は建坪30坪以上の、部屋数も5間以上の家庭が60%

表11 家の構造

地域 種類 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 鉄 筋	191	28.5	83	8.1	7	0.9	281	11.3
ロ. 木 造	466	69.4	891	86.5	757	96.3	2,114	85.0
ハ. プレハブ	8	1.2	26	2.5	4	0.5	38	1.5
ニ. そ の 他	2	0.3	13	1.3	7	0.9	22	1.0
NO. ANS	4	0.6	17	1.7	11	1.4	32	1.3
計	671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

表12 日あたり

程度	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ.よ	い	314	46.8	634	61.6	359	45.7	1,307	52.6
ロ.普	通	234	34.9	275	26.7	356	45.3	865	34.8
ハ.わ	るい	105	15.6	59	5.7	36	4.6	200	8.0
NO. ANS		18	2.7	62	6.0	35	4.5	115	4.6
計		671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

日あたりがよいとするものが、東京と、秋田と同数であり、建物の構造などから必ずしもよくない家が多かったあったが、秋田の対象地区が由利郡の山間地区などとも考えられる。

表13 暖、冷房器具の種類

種類	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ.ガスストーブ		59	8.8	46	4.5	6	0.8	111	4.5
ロ.石油	〃	138	20.6	269	26.1	482	61.3	889	35.7
ハ.電気	〃	11	1.6	16	1.6	1	0.1	28	1.1
ニ.こたつ		29	4.3	296	28.7	2	0.3	327	13.1
ホ.セントラルヒーティング		23	3.4	9	0.9	2	0.3	34	1.4
ヘ.マキストーブ		0		0		124	15.8	124	5.0
その他		12	1.8	10	1.0	16	2.0	38	1.5
2種類使用		314	46.8	319	31.0	117	14.9	750	30.2
3	〃	83	12.4	60	5.8	18	2.3	161	6.5
NO. ANS		2	0.3	5	0.5	18	2.3	25	1.0
計		671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

イ.扇風機		372	55.4	840	81.6	494	62.8	1,706	68.6
ロ.クーラー		107	15.9	20	1.9	2	0.3	129	5.2
ハ.特になし		41	6.1	55	5.3	158	20.1	254	10.2
2種類使用		93	13.9	31	3.0	4	0.5	128	5.1
ニ.その他		2	0.3	9	0.9	5	0.6	16	0.6
NO. ANS		56	8.3	75	7.3	123	15.6	254	10.2
計		671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

秋田は石油ストーブ、マキストーブがほとんどを占めている。

表14 騒音の有無（車、列車、飛行機、工場）

騒音程度	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件 数	%	件 数	%	件 数	%	件 数	%
イ. 非常にあり	78	11.6	87	8.4	40	5.1	205	8.2
ロ. ややうるさい	270	40.2	359	34.9	264	33.6	893	35.9
ハ. ほとんどない	318	47.4	580	56.3	476	60.0	1,374	55.2
NO. ANS	5	0.7	4	0.4	6	0.8	15	0.6
計	671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

ややうるさいというものが各地域とも30~40%みられるが、やはり東京が最もうるさいとするものが多い。

C 遊びに関する環境

表15-a おたくには子ども専用の遊び部屋（子ども部屋を含む）がありますか。（0才）

有 無	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件 数	%	件 数	%	件 数	%	件 数	%
イ. あ る	48	37.5	75	69.4	73	25.8	196	37.8
ロ. な い	78	60.9	30	27.8	203	71.8	311	59.9
NO. ANS	2	1.6	3	2.8	7	2.4	12	2.3
計	128	100.0	108	100.0	283	100.0	519	100.0

表15-b おたくには子ども専用の遊び部屋（子ども部屋を含む）がありますか。（1~3才）

有 無	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件 数	%	件 数	%	件 数	%	件 数	%
イ. あ る	85	34.7	142	31.6	44	26.7	271	31.6
ロ. な い	157	64.1	306	68.2	117	70.9	580	67.5
NO. ANS	3	1.2	1	0.2	4	2.4	8	0.9
計	245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表15-c おたくには子ども専用の遊び部屋（子ども部屋を含む）がありますか。（4~6才）

有 無	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件 数	%	件 数	%	件 数	%	件 数	%
イ. あ る	112	37.6	182	38.5	129	38.2	423	38.1
ロ. な い	182	61.1	286	60.5	208	61.5	676	61.0
NO. ANS	4	1.3	5	1.1	1	0.3	10	0.9
計	298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

子ども部屋の有無について、幼児の場合静岡ではありなくなり、秋田は年令の上昇につれ、ありとする家庭が多くなる傾向である。東京、静岡は年令が進むにつれ、やや少

表16-a 家の中で子どもが遊ぶ時、その相手を誰がしますか。

(0才)

地域 続柄	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 父	1	0.8	2	1.9	7	2.5	10	1.9
ロ. 母	62	48.4	65	60.2	62	21.9	189	36.4
ハ. 兄弟(姉妹)	1	0.8	9	8.3	12	4.2	22	4.2
ニ. 祖 母	4	3.1	9	8.3	93	32.9	106	20.4
ホ. 祖 父	0		0		3	1.1	3	0.6
ヘ. 友 人	0		0		1	0.4	1	0.2
イ.ロ.父 母	28	21.9	5	4.6	10	3.5	43	8.3
ロ.ニ.母,祖 母	8	6.3	2	1.9	17	6.0	27	5.2
2 人	6	4.7	4	3.7	33	11.7	43	8.3
3 人 以上	16	12.4	7	6.5	30	10.6	53	10.2
ト.そ の 他	1	0.8	1	0.9	5	1.8	7	1.4
NO. ANS	1	0.8	4	3.7	10	3.4	15	2.9
計	128	100.0	108	100.0	283	100.0	519	100.0

表16-b 家の中で子どもが遊ぶ時、その相手を誰がしますか。

(1~3才)

地域 続柄	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 父	5	2.0	13	2.9	4	2.4	22	2.6
ロ. 母	70	28.6	209	46.5	30	18.2	309	36.0
ハ. 兄弟(姉妹)	41	16.7	74	16.5	22	13.4	137	16.0
ニ. 祖 母	5	2.0	43	9.6	63	38.2	111	12.9
ホ. 祖 父	0		3	0.7	3	1.8	6	0.7
ヘ. 友 人	2	0.8	13	2.9	0		15	1.7
イ.ロ.父 母	35	14.3	10	2.2	5	3.0	50	5.8
ロ.ニ.母,祖 母	6	2.5	10	2.2	5	3.0	21	2.4
2 人	37	15.1	31	6.9	19	11.5	87	10.1
3 人 以上	42	17.2	30	6.7	11	6.7	83	9.7
ト.そ の 他	2	0.8	10	2.2	3	1.8	15	1.7
NO. ANS	0		3	0.7	0		3	0.4
計	245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表16-c 家の中で子どもが遊ぶ時、その相手を誰がしますか。

(4~6才)

統柄	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 父		15	5.0	17	3.6	10	3.0	42	3.8
ロ. 母		41	13.8	110	23.3	37	10.9	188	17.0
ハ. 兄弟(姉妹)		113	37.9	212	44.8	135	39.9	460	41.5
ニ. 祖 母		8	2.7	15	3.2	47	13.9	70	6.3
ホ. 祖 父		0		4	0.8	8	2.4	12	1.1
ヘ. 友 人		14	4.7	34	7.2	20	5.9	68	6.1
イ.ロ. 父 母		17	5.7	4	0.8	3	0.9	24	2.2
ロ.ニ. 母, 祖 母		5	1.7	4	0.8	1	0.3	10	0.9
2 人		43	14.4	40	8.5	53	15.7	136	12.3
3 人 以 上		35	11.7	21	4.4	16	4.7	72	6.5
ト. そ の 他		2	0.7	8	1.7	5	1.5	15	1.4
NO. ANS		5	1.7	4	0.8	3	0.9	12	1.1
計		298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

0才の場合、東京では父母が相手をする家庭が非常に多く、静岡では父親の参加がやや少なくなり、母親だけのケースが大半となる。農村部の秋田では祖母が相手をする

するというのが最も多く、この傾向は、1~3才、4~6才段階になっても祖母が相手をするものがかなりみられる。

表17-a

お子さんがふだん使っているおもちゃの中から主なものを3つあげて下さい。(0才)

種 類	地 域 件 数	東 京	静 岡	秋 田	計
		件	件	件	件
人 形		77	98	156	331
車		11	39	47	97
絵 本		16	7	25	48
積木, 折紙, 粘土		21	11	29	61
ボ ー ル		16	9	25	50
ガラガラ, オシャブリ		135	9	301	445
三 輪 車		8	7	20	35
そ の 他		39	2	11	52
NO. ANS		61	142	235	438
計		384	324	849	1,557

表17-b

お子さんがふだん使っているおもちゃの中から主なものを3つあげて下さい。(1~3才)

種 類	地 域 件 数	東 京	静 岡	秋 田	計
		件	件	件	件
人 形		137	219	87	443
車		138	210	82	430
絵 本		122	217	58	397
積木, 折紙, 粘土		129	171	52	352
ボ ー ル		42	44	40	126
ガラガラ, オシャブリ		35	66	78	179
三 輪 車		38	132	21	191
そ の 他		45	117	16	178
NO. ANS		49	171	61	281
計		735	1,347	495	2,577

表17-c

お子さんがふだん使っているおもちゃの中から
主なものを3つあげて下さい。(4~6才)

種類	地域 件数	地域			計 件
		東京 件	静岡 件	秋田 件	
人形		169	202	188	559
車		96	165	105	366
絵本		156	253	232	641

積木, 折紙, 粘土	201	233	175	609
ボール	56	54	50	160
ガラガラ, オシャブリ	15	34	18	67
三輪車	28	211	60	299
その他	33	54	28	115
NO. ANS	140	213	158	511
計	894	1,419	1,014	3,327

表18-a 主にだれがお子さんにおもちゃを買ってきますか。(0才)

続柄	地域 件数	東京		静岡		秋田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 父		31	24.2	31	28.7	81	28.6	143	27.6
ロ. 母		43	33.5	34	31.5	62	21.9	139	26.8
ハ. 祖父母		30	23.4	10	9.3	69	24.4	109	21.0
ニ. その他		8	6.3	8	7.4	15	5.3	31	6.0
不定		8	6.3	5	4.6	24	8.5	37	7.1
NO. ANS		8	6.3	20	18.5	32	11.3	60	11.5
計		128	100.0	108	100.0	283	100.0	519	100.0

表18-b 主にだれがお子さんにおもちゃを買ってきますか。(1~3才)

続柄	地域 件数	東京		静岡		秋田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 父		76	31.0	161	35.9	56	33.9	293	34.1
ロ. 母		81	33.1	168	37.4	46	27.9	295	34.3
ハ. 祖父母		38	15.5	69	15.4	31	18.8	138	16.1
ニ. その他		15	6.1	17	3.8	10	6.1	42	4.9
不定		28	11.4	23	5.1	13	7.9	64	7.5
NO. ANS		7	2.9	11	2.4	9	5.4	27	3.1
計		245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表18-c 主にだれがお子さんにおもちゃを買ってきますか。(4~6才)

続柄	地域 件数	東京		静岡		秋田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 父		96	32.2	185	39.1	114	33.7	395	35.6
ロ. 母		127	42.6	185	39.1	114	33.7	426	38.4
ハ. 祖父母		17	5.7	42	8.9	60	17.8	127	11.5

ニ.その他	20	6.7	27	5.7	12	3.6	59	5.3
不 定	29	9.7	18	3.8	25	7.4	72	6.5
NO. ANS	9	3.0	16	3.4	13	3.8	38	3.4
計	298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

主に子どもに玩具を与える人は、0才児の場合、東 が多い傾向である。
京、静岡では母親が最も多いが、秋田では父親、祖父母

表19-a お子さんがいくつになった時、はじめてオモチャを与えましたか。(1~3才)

地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 生後 すぐ	15	6.1	45	10.0	7	4.2	67	7.8
ロ. // 1ヶ月まで	54	22.0	102	22.7	28	17.0	184	21.4
ハ. // 2~3ヶ月頃	118	48.2	206	45.9	75	45.5	399	46.5
ニ. // 4~5ヶ月頃	55	22.5	81	18.1	46	27.9	182	21.2
そ の 他	1	0.4	6	1.3	7	4.2	14	1.6
NO. ANS	2	0.8	9	2.0	2	1.2	13	1.5
計	245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表19-b お子さんがいくつになった時に、はじめてオモチャを与えましたか。(4~6才)

地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 生後 すぐ	15	5.0	56	11.8	17	5.0	88	7.9
ロ. // 1ヶ月まで	74	24.8	106	22.4	41	12.1	221	19.9
ハ. // 2~3ヶ月頃	120	40.3	205	43.3	116	34.3	441	39.8
ニ. // 4~5ヶ月頃	67	22.5	76	16.1	103	30.5	246	22.2
そ の 他	14	4.7	20	4.2	30	8.9	64	5.8
NO. ANS	8	2.7	10	2.1	31	9.2	49	4.4
計	298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

子どもに玩具を最初に与えた時期は、生後2~3カ月 かなり早期に与えられていることがみられる。
頃が最も多く、生後1ヵ月頃与えた場合も20%近くで、

D 育児について

表20-a お父さんとお母さんとが育児について話合われることがありますか。(0才)

地域 程度	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 殆んどない	4	3.1	7	6.5	14	4.9	25	4.8
ロ. 時々ある	68	53.1	55	50.9	167	59.0	290	55.9

ハ.よく話す	56	43.8	45	41.7	91	32.2	192	37.0
NO. ANS	0		1	0.9	11	3.9	12	2.3
計	128	100.0	108	100.0	283	100.0	519	100.0

表20—b お父さんとお母さんが育児について話合われることがありますか。(1—3才)

程度	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件 数	件	%	件	%	件	%	件
イ.殆んどない	10	4.1	21	4.7	6	3.6	37	4.3
ロ.時々ある	150	61.2	275	61.2	122	74.0	547	63.7
ハ.よく話す	84	34.3	145	32.3	31	18.8	260	30.3
NO. ANS	1	0.4	8	1.8	6	3.6	15	1.7
計	245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表20—c お父さんとお母さんが育児について話合われることがありますか。(4—6才)

程度	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件 数	件	%	件	%	件	%	件
イ.殆んどない	23	7.7	22	4.7	28	8.3	73	6.6
ロ.時々ある	203	68.1	224	47.4	243	71.9	670	60.4
ハ.よく話す	65	21.8	219	46.3	50	14.8	334	30.1
NO. ANS	7	2.3	8	1.7	17	5.0	32	2.9
計	298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

3地区とも、現在多くの家庭では、子どものことについては話し合いは、かなりよく行なわれているといえる。よく話すというものが4～6才になると東京、秋田では少なくなるが、これは育児について手がかからなくなることによるものと思われる。

表21—a お父さんは育児にどの位関心をもっていますか。(0才)

関心度	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件 数	件	%	件	%	件	%	件
イ.強 い	42	32.8	32	29.6	57	20.1	131	25.2
ロ.ふ つ う	81	63.3	69	63.9	200	70.7	350	67.4
ハ.無 関 心	5	3.9	6	5.6	9	3.2	20	3.9
NO. ANS	0		1	0.9	17	6.0	18	3.5
計	128	100.0	108	100.0	283	100.0	519	100.0

表21—b お父さんは育児にどの位関心をもっていますか。(1—3才)

関心度	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件 数	件	%	件	%	件	%	件
イ.強 い	57	23.3	81	18.0	17	10.3	155	18.0

ロ.ふつう	178	72.7	338	75.3	136	82.4	652	75.9
ハ.無関心	6	2.4	18	4.0	4	2.4	28	3.3
NO. ANS	4	1.6	12	2.7	8	4.9	24	2.8
計	245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表21-c お父さんは育児にどの位関心をもっていますか。(4~6才)

地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ.強い	36	12.1	67	14.2	24	7.1	127	11.5
ロ.ふつう	235	78.9	364	77.0	274	81.1	873	78.7
ハ.無関心	17	5.7	32	6.8	24	7.1	73	6.6
NO. ANS	10	3.4	10	2.1	16	4.7	36	3.2
計	298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

父親の育児に対する関心については、強いと答えたものが、0才に各地区とも多い。

表22-a お父さんはお子さんにどんなことをしてあげますか。(0才)

地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ.食事の世話	1	0.8	1	0.9	4	1.4	6	1.1
ロ.入浴の世話	20	15.6	53	49.1	78	27.6	151	29.1
ハ.大小便の世話	0		1	0.9	3	1.1	4	0.8
ニ.着脱衣の世話	0		0		4	1.4	4	0.8
ホ.遊び相手	33	25.8	22	20.4	70	24.7	125	24.1
ヘ.何もしない	5	3.9	2	1.9	14	4.9	21	4.0
ロ.ホ.	30	23.3	17	15.7	46	16.3	93	17.9
イ.ロ.	1	0.8	1	0.9	6	2.1	8	1.5
その他2種	11	8.6	3	2.8	15	5.3	29	5.6
3種以上	24	18.8	4	3.7	31	11.0	59	11.4
ト.その他	1	0.8	1	0.9	0		2	0.4
NO. ANS	2	1.6	3	2.8	12	4.2	17	3.3
計	128	100.0	108	100.0	283	100.0	519	100.0

表22-b お父さんはお子さんにどんなことをしてあげますか。(1~3才)

地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ.食事の世話	1	0.4	14	3.1	3	1.8	18	2.1
ロ.入浴の世話	28	11.4	196	43.7	45	27.3	269	31.3

ハ. 大小便の世話	1	0.4	3	0.7	0		4	0.5
ニ. 着脱衣の世話	2	0.8	2	0.4	1	0.6	5	0.6
ホ. 遊び相手	50	20.4	110	24.5	46	27.9	206	24.0
ヘ. 何もしない	12	4.9	15	3.3	4	2.4	31	3.6
ロ. ホ.	54	22.1	52	11.6	24	14.5	130	15.1
イ. ロ.	3	1.2	2	0.4	6	3.6	11	1.3
その他2種	13	5.3	11	2.5	9	5.5	33	3.8
3種以上	66	26.9	25	5.6	19	11.5	110	12.8
ト. その他	6	2.5	8	1.8	0		14	1.6
NO. ANS	9	3.7	11	2.4	8	4.9	28	3.3
計	245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表22-c お父さんはお子さんにどんなことをしてあげますか。

(4~6才)

内容	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 食事の世話	4	1.3	4	0.8	5	1.5	13	1.2
ロ. 入浴の世話	74	24.8	200	42.3	126	37.3	400	36.1
ハ. 大小便の世話	0		2	0.4	2	0.6	4	0.4
ニ. 着脱衣の世話	0		2	0.4	12	3.6	14	1.3
ホ. 遊び相手	66	22.1	129	27.3	76	22.5	271	24.4
ヘ. 何もしない	11	3.7	33	7.0	18	5.3	62	5.6
ロ. ホ.	79	26.5	59	12.5	43	12.7	181	16.3
イ. ロ.	8	2.7	1	0.2	1	0.3	10	0.9
その他2種	10	3.4	8	1.7	8	2.4	26	2.3
3種以上	26	8.7	10	2.1	17	5.0	53	4.8
ト. その他	10	3.4	7	1.5	4	1.2	21	1.9
NO. ANS	10	3.4	18	3.8	26	7.7	54	4.9
計	298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

子どもに対して、父親がどんな事をしてやっているか
 というと、入浴と遊びをあげるものが非常に多く、静岡

は半数の父親が子どもと入浴を共にしている。小さな子
 どもの育児に対する参加度は極めて高い。

表23-a お父さんはお子さんのしつけに対してどんなですか。

(1~3才)

程 度	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 厳 しい	34	13.9	84	18.7	9	5.5	127	14.8
ロ. ふ つ う	144	58.8	294	65.5	127	77.0	565	65.8

ハ. 甘い	62	25.3	61	13.6	20	12.1	143	16.6
NO. ANS	5	2.0	10	2.2	9	5.4	24	2.8
計	245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表23—b お父さんはお子さんのしつけに対してどんなですか。

(4～6才)

程度	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 厳しい		41	13.8	65	21.8	39	11.5	145	13.1
ロ. ふつう		197	66.1	329	69.6	232	68.6	758	68.3
ハ. 甘い		56	17.1	70	14.8	49	14.5	170	15.3
NO. ANS		9	3.0	9	1.9	18	5.3	36	3.2
計		298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

父親のしつけ態度では、きびしいとする者は10～30% あり、きびしいという父親像は、ほとんどの家庭ではみ
程度であり、他のほとんどのものは、ふつうと表現して られなくなっている。

表24—a お父さんはお子さんと一緒に食事をすることがありますか。

(1～3才)

程度	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 三食一緒		19	7.8	59	13.1	45	27.3	123	14.3
ロ. 朝食のみ	〃	36	14.7	37	8.3	6	3.6	79	9.2
ハ. 夕食のみ	〃	56	22.9	98	21.8	27	16.4	181	21.1
ニ. 朝, 夕食のみ	〃	66	26.9	199	44.3	63	38.2	328	38.2
ホ. あまり一緒に 食事せず		56	22.9	40	8.9	15	9.1	111	12.9
ヘ. その他		7	2.8	7	1.6	1	0.6	15	1.7
NO. ANS		5	2.0	9	2.0	8	4.8	22	2.6
計		245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表24—b お父さんはお子さんと一緒に食事をすることがありますか。

(4～6才)

程度	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 三食一緒		16	5.4	51	10.8	51	15.1	118	10.6
ロ. 朝食のみ	〃	38	12.8	38	8.0	31	9.2	107	9.6
ハ. 夕食のみ	〃	85	28.5	99	20.9	50	14.8	234	21.1
ニ. 朝, 夕食のみ	〃	92	30.9	226	47.8	145	42.9	463	41.7
ホ. あまり一緒に 食事をせず		53	17.8	46	9.7	37	10.9	136	12.3
ヘ. その他		5	1.7	6	1.3	7	2.1	18	1.6
NO. ANS		9	3.0	7	1.5	17	5.0	33	3.0

計	298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0
---	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-------	-------

三食とも、共にするという例は、秋田に30%近いほか、東京に多くは少ない。多くは朝夕2食を共にするという状態である。秋田は10%前後である。

表25—a お母さんはしつけに対してどのようにしていますか。(1~3才)

程度	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 厳 しい		46	18.8	67	14.9	9	5.5	122	14.2
ロ. ふ つ う		189	77.1	353	78.6	138	83.6	680	79.2
ハ. 甘 い		9	3.7	18	4.0	10	6.1	37	4.3
NO. ANS		1	0.4	11	2.5	8	4.8	20	2.3
計		245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表25—b お母さんはしつけに対してどのようにしていますか。(4~6才)

程度	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 厳 しい		53	17.8	76	16.1	50	14.8	179	16.1
ロ. ふ つ う		222	74.5	370	78.2	263	77.8	855	77.1
ハ. 甘 い		14	4.7	19	4.0	16	4.7	49	4.4
NO. ANS		9	3.0	8	1.7	9	2.7	26	2.3
計		298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

母親の子どもに対するしつけ態度は、大体父親の場合と同じような数字がみられるが、記入者が母親自身のせいか甘いとするものは父親の場合よりむしろ少ない。

表26—a お母さんは一日にどの位の時間お子さんの相手になってあげますか。(0才)

時間	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 殆んどなし		3	2.3	1	0.9	3	1.1	7	1.4
ロ. ~ 30分		1	0.8	5	4.6	7	2.5	13	2.5
ハ. 1 時間		10	7.8	16	14.8	23	8.1	49	9.4
ニ. 2 時間		38	29.7	18	16.7	70	24.7	126	24.3
ホ. 3 時間以上		72	56.3	60	55.6	166	58.7	298	57.4
NO. ANS		4	3.1	8	7.4	14	4.9	26	5.0
計		128	100.0	108	100.0	283	100.0	519	100.0

表26—b お母さんは一日にどの位の時間お子さんの相手になってあげますか。(1～3才)

時間	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ.殆んどなし		8	3.3	8	1.8	2	1.2	18	2.1
ロ. ～30分		22	9.0	33	7.3	10	6.1	65	7.6
ハ. 1時間		53	21.6	73	16.3	22	13.3	148	17.2
ニ. 2時間		84	34.3	126	28.1	37	22.4	247	28.8
ホ. 3時間以上		73	29.8	202	45.0	87	52.7	362	42.1
NO. ANS		5	2.0	7	1.5	7	4.3	19	2.2
計		245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表26—c お母さんは一日にどの位の時間お子さんの相手になってあげますか。(4～6才)

時間	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ.殆んどなし		21	7.0	19	4.0	16	4.7	56	5.0
ロ. ～30分		66	22.1	86	18.2	64	18.9	216	19.5
ハ. 1時間		117	39.3	147	31.1	95	28.1	359	32.4
ニ. 2時間		58	19.5	126	26.6	100	29.6	284	25.6
ホ. 3時間以上		30	10.1	88	18.6	55	16.3	173	15.6
NO. ANS		6	2.0	7	1.5	8	2.4	21	1.9
計		298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

当然0才や1～3才児に多く、0才児はどの地域も3%の母親が3時間以上遊び相手になっている。時間以上が半数以上を占め、1～3才児の段階でも約40%

表27—a お子さんは夜誰とねますか。(0才)

室床の様子	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 父母祖父母と別室		20	15.6	15	13.9	5	1.8	40	7.8
ロ. 同室別床		87	68.1	59	54.6	126	44.5	272	52.4
同室同床		9	7.0	16	14.8	86	30.4	111	21.4
同室NA		9	7.0	15	13.9	55	19.4	79	15.2
NO. ANS		3	2.3	3	2.8	11	3.9	17	3.2
計		128	100.0	108	100.0	283	100.0	519	100.0

表27—b お子さんは夜誰とねますか。

(1~3才)

地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 父母祖父母と別室	39	15.9	56	12.5	4	2.4	99	11.5
ロ. 同室別床	126	51.4	193	43.0	42	25.5	361	42.0
同室同床	44	18.0	93	20.7	77	46.7	214	24.9
同室 N A	31	12.7	93	20.7	37	22.4	161	18.8
NO. ANS	5	2.0	14	3.1	5	3.0	24	2.8
計	245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表27—c お子さんは夜誰とねますか。

(4~6才)

地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 父母祖父母と別室	68	22.8	131	27.7	26	7.7	225	20.3
ロ. 同室別床	135	51.4	203	42.9	142	42.0	480	43.3
同室同床	38	12.8	45	9.5	76	22.5	159	14.3
同室 N A	51	17.1	88	18.6	86	25.4	225	20.3
NO. ANS	6	2.0	6	1.3	8	2.4	20	1.8
計	298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

何れの地区も大人と同じ部屋で、寝床だけ別というものが最も多く、40~50%を占めている。しかし、いわゆる添いねをしているものが秋田で非常に多く、1~3才で47%、4~5才でも23%となっている。部屋数も他の

地区に比し多いのに、別室にねせるのは少ない。4~6才でも8%に過ぎない。この点東京と好対照となっている。

表28—a 子ども用の便器がありますか。

(0才)

地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
有	51	39.8	37	34.3	81	28.6	169	32.6
無	73	57.1	64	59.3	189	66.8	326	62.8
NO. ANS	4	3.1	7	6.4	13	4.6	24	4.6
計	128	100.0	108	100.0	283	100.0	519	100.0

表28—b 子ども用の便器がありますか。

(1~3才)

地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%
有	127	51.8	167	37.2	55	33.3	349	40.6
無	114	46.5	273	60.8	108	65.5	495	57.6

NO. ANS	4	1.7	9	2.0	2	1.2	15	1.8
計	245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表28—c 子ども用の便器がありますか。

(4～6才)

地域 有無	東 京		静 岡		秋 田		計		
	件 数	件	%	件	%	件	%	件	%
イ.あ	る	61	20.5	85	18.0	67	19.8	213	19.2
ロ.な	い	235	78.9	383	81.0	263	77.8	881	79.4
NO. ANS		2	0.7	5	1.1	8	2.4	15	1.4
計		298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

表29—a 子ども用のベッドがありますか。

(0才)

地域 有無	東 京		静 岡		秋 田		計		
	件 数	件	%	件	%	件	%	件	%
イ.あ	る	89	69.5	74	68.5	99	35.0	262	50.5
ロ.な	い	38	29.7	34	31.5	176	62.2	248	47.8
NO. ANS		1	0.8	0		8	2.8	9	1.7
計		128	100.0	108	100.0	283	100.0	519	100.0

表29—b 子ども用のベッドがありますか。

(1～3才)

地域 有無	東 京		静 岡		秋 田		計		
	件 数	件	%	件	%	件	%	件	%
イ.あ	る	141	57.6	158	35.2	46	27.9	345	40.2
ロ.な	い	97	39.6	281	62.6	113	68.5	491	57.1
NO. ANS		7	2.8	10	2.2	6	3.6	23	2.7
計		245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表29—c 子ども用のベッドがありますか。

(4～6才)

地域 有無	東 京		静 岡		秋 田		計		
	件 数	件	%	件	%	件	%	件	%
イ.あ	る	90	30.2	176	37.2	64	18.9	330	29.8
ロ.な	い	204	68.5	293	61.9	267	79.0	764	68.9
NO. ANS		4	1.3	4	0.8	7	2.1	15	1.4
計		298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

表30—a 子ども用の衣類をお母さんがつくることがありますか。

(0才)

有無	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. な	い	56	43.8	49	45.4	80	28.3	185	35.6
ロ. あ	る	67	52.3	54	50.0	194	68.6	315	60.7
NO. ANS		5	3.9	5	4.6	9	3.1	19	3.7
計		128	100.0	108	100.0	283	100.0	519	100.0

そ の 種 類 (0才)

段	種 類	段	種 類	段	種 類
	セーター, カーディガン		セーター, カーディガン		セーター, カーディガン
	チョッキ		チョッキ		ズボン
	肌着		ズボン		おくるみ
	スモック		下着		エプロン
	ロンパス		レギンス		下着, 上着
	パジャマ		ワンピース		くつ下
	ワンピース		くつ下		よだれかけ
	ケープ		おむつカバー		遊着, スモック
	エプロン		エプロン		おむつカバー
	パンツ		ケープ		帽子
	ズボン		古着の改良品		
	くつ下		帽 子		きもの, ゆかた, はんてん

表30—b 子ども用の衣類をお母さんがつくることがありますか。

(1~3才)

有無	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. な	い	100	40.8	196	43.7	44	26.7	340	39.6
ロ. あ	る	143	58.4	248	55.2	116	70.3	507	59.0
NO. ANS		2	0.8	5	2.1	5	3.0	12	1.4
計		245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

そ の 種 類 (1~3才)

段	種 類	段	種 類	段	種 類
	チョッキ		チョツキ		セーター
	セーター, カーディガン		セーター, カーディガン		まえかけ
	スカート, ズボン		スカート, ズボン		着 物
	あそび着		スモック		ズボン

ワンピース		パジャマ		下着
パンツ		ワンピース		ワンピース
コート		くつ下		スモック
ロンパース		ブラウス		ねまき, パジャマ
エプロン		エプロン		チョッキ
スモック		シャツ		ブラウス
帽子		帽子		ロンパース
下着				スカート

表30—c 子ども用の衣類をお母さんがつくることがありますか。

(4~6才)

有無	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. な	い	143	48.0	189	40.0	129	38.2	461	41.6
ロ. あ	る	154	51.7	277	58.5	200	59.2	631	56.9
NO. ANS		1	0.3	7	1.5	9	2.7	17	1.5
計		298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

そ の 種 類 (4~6才)

段	種 類	段	種 類	段	種 類
	スカート		セーター		セーター
	ズボン		カーディガン		ズボン
	セーター		スカート		チョッキ
	ワンピース		ズボン		スカート
	パジャマ		チョッキ		和服
	ブラウス		パジャマ, ねまき		ねまき
	カーディガン		ブラウス		肌着
	上着		上着		浴衣
	チョッキ		ワンピース		手袋
	くつ下, エプロン		スモック		帽子
	夏服		帽子		ちゃんちゃんこ
	浴衣		手袋		くつ下

子どもの衣類を自分で作ることが、非常に少なくなっている。社会世相といわれるが、秋田の場合70%のもの

が作ると答えており、内容も和服に類したものが現在でもかなり作られている。

表31-a お子さんが一日のうちでテレビを見る時間はどの位ですか。(1~3才)

時間	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 殆んどない		17	6.9	28	6.2	6	3.6	51	5.9
ロ. ~ 30分		23	9.4	43	9.6	34	20.6	100	11.7
ハ. 30分~1時間		57	23.3	66	14.7	40	24.2	163	19.0
ニ. 1~2時間		71	29.0	140	31.2	34	20.6	245	28.5
ホ. 2~3時間		52	21.2	114	25.4	29	17.6	195	22.7
ヘ. 3~時間		20	8.2	49	10.9	10	6.1	79	9.2
NO. ANS		5	2.0	9	2.0	12	7.3	26	3.0
計		245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表31-b お子さんが一日のうちでテレビを見る時間はどの位ですか。(4~6才)

時間	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 殆んどない		3	1.0	1	0.2	1	0.3	5	0.5
ロ. ~ 30分		4	1.3	0		3	0.9	7	0.6
ハ. 30分~1時間		43	14.4	46	9.7	27	8.0	116	10.5
ニ. 1~2時間		118	39.6	188	39.7	125	37.0	431	38.9
ホ. 2~3時間		94	31.5	170	35.9	137	40.5	401	36.2
ヘ. 3~時間		36	12.1	60	12.7	42	12.4	138	12.4
NO. ANS		0		8	1.7	3	0.9	11	1.0
計		298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

表32-a 食事中テレビをみせますか。(1~3才)

Yes. NO.	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 見せる		133	54.3	273	60.8	118	71.5	524	61.0
ロ. 見せない		107	43.7	167	37.2	38	23.0	312	36.3
NO. ANS		5	2.0	9	2.0	9	5.5	23	2.7
計		245	100.0	449	100.0	165	100.0	859	100.0

表32-b 食事中テレビをみせますか。(4~6才)

Yes. NO.	地域 件数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. 見せる		203	68.1	302	63.8	296	87.6	801	72.2
ロ. 見せない		92	30.9	166	35.1	33	9.8	291	26.2

NO. ANS	3	1.0	5	1.1	9	2.7	17	1.5
計	298	100.0	473	100.0	338	100.0	1,109	100.0

テレビ視聴時間は、2時間前後のものが多く、3時間以上も秋田で6~12%である。

で1~3才で71%、4~6才で88%もあり、しつけの点で反省させられる。

さらに、食事中もテレビをみるというのが、特に秋田

表33 お母さんの育児に関する知識は主にどこからえられましたか。

種 類	地 域 件 数	東 京		静 岡		秋 田		計	
		件	%	件	%	件	%	件	%
イ. テレビ, ラジオ		23	3.4	105	10.2	40	5.1	168	6.8
ロ. 新聞, 雑誌		62	9.2	195	18.9	95	12.1	352	14.2
ハ. 医師, 保健婦		65	9.7	55	5.3	132	16.8	252	10.1
ニ. 祖父母, 親類		37	5.5	113	11.0	84	10.7	234	9.4
ホ. 近所の人, 友人		34	5.1	105	10.2	57	7.3	196	7.9
ヘ. 育 児 書		44	6.6	188	18.3	56	7.1	288	11.6
ト. そ の 他		27	4.0	47	4.6	14	1.8	88	3.5
ロ ハ		10	1.5	8	0.8	24	3.1	42	1.7
ロ ニ		10	1.5	7	0.7	9	1.1	26	1.0
ロ ヘ		15	2.2	18	1.7	22	2.8	55	2.2
ハ ニ		16	2.4	0		29	3.7	45	1.8
ハ ヘ		39	5.8	7	0.7	19	2.4	65	2.6
ニ ヘ		11	1.6	8	0.8	7	0.9	26	1.0
ロ ハ ヘ		13	1.9	4	0.4	12	1.5	29	1.2
他 2 種 以上		249	37.1	137	13.3	124	15.8	510	20.5
NO. ANS		16	2.4	33	3.2	62	7.9	111	4.5
計		671	100.0	1,030	100.0	786	100.0	2,487	100.0

母親の育児知識は、秋田では医師、保健婦、新聞、雑誌、祖父母、育児書などであるが、静岡ではマスコミか

らの情報に頼っている傾向が伺われる。

正常児の家庭環境に関する研究（その2）

*伊藤 玲子 *佐々木 芳枝

I はじめに

正常児の家庭環境について、本県の状況に関して、次の事項に分け報告することとする。

A 秋田県の現状について（子どもをとりまく社会環境の変化、ならびに子どもの発育）

B 親子の接触について（幼児の生活構造に関する調査から）

C 市町村、保健所保健婦、保育所保母の座談会報告。

A 秋田県の現状について

東北寒冷農村地帯として、多産多死の乳児死亡高率県の本県も、出生率は全国でも最も低い方のグループに入り（45年度人口1,000対14.3全国18.7）、乳児死亡率も、時代の進歩に伴ない（出生1,000対15.9、全国13.1）と減少してきている。社会の生活構造も年々変化しており、今回正常児の家庭環境について、本県の状況をのべるにあたり、本県統計課の資料等を参考に、子どもをとりまく社会環境の変化の一端をのべ、あわせて我々の調査より得られた既成資料より子どもの発達について少しくふれてみたい。

1 人口構造の変化

本県の昭和45年の人口は、約123万人であるが、年令別にみると、年少人口（0～14才）24.4%、生産人口（15～64才）68.3%、老年人口（65才以上）7.3%となっており、昭和40年に比して年少人口で18.1%の減少、生産人口で1.8%の増加、老年人口で22.6%の増加となっている。このことは、出生の低下と、生産人口の流出増加および平均寿命の伸びが原因とみられる。

2 農家人口の変化、農家所得

かつては60～70%の農家人口も、昭和半ば頃より少なくなり、35年に57.4%、45年に49.2%、49年に48.2%と減少してきている。農家所得に占める農外所得の割合は49.1%と農外依存度が強くなっている。

3 農家の出かせぎ者の状況

農家の兼業種類の中、「出かせぎを主とするもの場

合」が、30年は10農家当りの割合が1.3人だったのが、40年で3.5人、46年で5.4人となった。46年の出かせぎを主とする者の数は63,746人で、その大部分が関東（80.2%）、東海（8.6%）地方で、次に近畿、北海道、一部東北その他である。県内市町村の中には、地域ぐるみで3～6カ月の長期間家を留守にすることが常習化されているところもある。

4 生活用品（ガス、水道、自動車、テレビ、ラジオ）

生活必需のものとして、燃料は最も大切なものの一つであるが、生活環境の近代化、高度化が進むにつれてその需要は年々増加し、ガスは46年は、40年の2倍近くになっている。本県の世帯数は約303千であるが、ガスを用途別にみると家庭用が72.9%で、県内世帯数の23.0%にあたる69千戸が用いている。

水道普及率は、45年度65.0%であるが、これを市町村別にみると、市部82.1%、郡部51.2%、村部45.8%となっている。

自動車の保有台数は、45年度総数20万台を上まわり、66.0%の普及率で、テレビ、ラジオは、43年に96.5%、46年は88.8%で、受診契約外も入れると、ほぼ全世帯に入っているものとしても過言でない状況と思われる。

5 婦人の尚業状況

46年の15才以上女子人口は448千人である。秋田労働基準局調べによると、就業女子人口は、生産女子人口の約25.7%（全国38.7%）にあたる。本県においても、郡部の町村では誘置工場の設立が盛んで働く女子人口は年々増加している。また、かかる工場や、事業所のみならず、家庭内職や、パートタイムの仕事を求める人々で、あつ旋業は盛況を呈している現状である。

6 乳幼児の事故

本県の0才、1～4才、5～9才児の事故死亡状況は表1の如くである。すなわち、10年より46年までの発生件数としては、年々減少してきているが、他の原因による乳幼児死者数の減少よりスピードがおそく、従って、乳幼児死亡の中の事故死の割合は、逆に年々上昇している。46年度男子で、1～4才の場合、死亡の73.2% 5～9才で70%が事故死で、幼児死亡原因の主役となっ

表1

秋田県乳幼児事故死状況

(昭10~46)

年度	0才				1～4才				5～9才			
	男		女		男		女		男		女	
	事故死	%	事故死	%	事故死	%	事故死	%	事故死	%	事故死	%
昭10	13	0.4	14	0.5	99	7.8	69	5.8	37	13.7	13	5.7
25	18	1.0	18	1.1	83	11.6	63	9.0	37	21.5	17	9.6
30	12	1.5	22	2.9	80	29.5	48	20.2	59	41.6	17	17.5
35	10	2.0	12	3.3	54	43.6	23	19.8	37	50.7	13	22.8
40	8	2.7	13	5.1	39	53.4	15	19.2	19	38.0	5	20.8
41	9	4.4	10	6.5	32	58.2	23	54.8	13	41.9	7	33.3
42	9	4.1	6	4.0	22	48.9	18	54.6	19	65.5	10	58.8
43	8	3.6	12	7.6	24	46.2	17	44.7	9	33.3	5	29.4
44	8	4.2	12	7.1	33	47.1	14	46.7	23	71.9	8	40.0
45	13	7.6	4	3.6	21	60.0	16	44.4	11	42.3	10	76.9
46	16	10.4	11	2.2	41	73.2	18	50.0	21	70.0	8	50.0

表2

乳児事故死年次推移

昭和	0才										男										女									
	全死亡計	事故死計	事故死の内容										全死亡計	事故死計	事故死の内容															
			BE47	BE48	BE48の内容					BE49	BE50	BE47			BE48	BE48の内容					BE49	BE50								
		自動車事故	その他の事故	a 自動車の交通以外	b 不慮の墜落	c 不慮の溺死	d 天災	e その他	自殺・自傷	戦争行為	他殺			自動車事故	その他の事故	a 自動車の交通以外	b 不慮の墜落	c 不慮の溺死	d 天災	e その他	自殺・自傷	戦争行為	他殺							
10	2,967	13	←	詳細不明								2,691	14	←	詳細不明															
25	1,827	18		15	※	不慮の事故	中毒	暴力	1	2	1,598	18		17	※							0	1							
30	824	12		10	※		1	9	0	2	779	22		22	※			2			20	0	0							
35	506	10		10				10	0	0	364	12		10				2			8	0	2							
36	468	9		8			1	7	0	1	362	10		9							9	0	1							
37	408	14		13				13	0	1	324	13		12							12	0	1							
38	356	13		12			1	11	0	1	268	7		7							7	0	0							
39	292	9		9		詳細不明					251	10		10		詳細不明						0	0							
40	293	8		7				7		1	254	13		10							10	0	3							
41	206	9	1	5				2	3	0	3	155	10		8			1			7	1	1							
42	222	9	0	9				3	6	0	0	152	6		6				1		5	0	0							
43	224	8	0	4					4	0	4	157	12	1	5						5	0	6							
44	191	8	0	8				1	7	0	0	168	12	1	7						7	0	4							

45	171	13	0	12					12	0	1	111	4	0	3					3	0	1
46	154	11	0	7		1	1		5	0	4	90	9	0	5					5	0	4

表3 幼児事故死年次推移

1~4才		男											女															
昭和	全死亡計	事故死計	事故死の内容											全死亡計	事故死計	事故死の内容												
			BE47	BE48	BE48の内容					BE49	BE50	BE47	BE48			BE48の内容					BE49	BE50						
			自動車事故	不慮の事故	その他の交通事 a 自動車の 以外	b 不慮の墜落	c 不慮の溺死	d 天災	e その他	自殺・自傷	戦争行為	他殺	自動車事故			不慮の事故	その他の交通事 a 自動車の 以外	b 不慮の墜落	c 不慮の溺死	d 天災	e その他	自殺・自傷	戦争行為	他殺				
10	1,273	99	←詳細不明											1,183	69	←詳細不明												
25	714	83		81	※不慮の事故					中毒	暴力		2	699	63		62	←※						0	1			
30	271	80		74	←※					51	23	2	4	238	48		45			36		9	0	3				
35	124	54	7	46	2	3	35	0	6	0	1	116	27	4	21	1	0	17	0	3	0	2						
36	135	58	11	41	2	1	29	0	9	0	6	101	33	3	30	1	2	22	0	5	0	0						
37	100	43	10	33	2	0	27	0	4	0	0	93	34	2	31	0	0	23	0	8	0	1						
38	92	47	10	37	1	1	33	0	2	0	0	56	23	5	18	1	0	14	1	2	0	0						
39	71	42	42	詳細不明											77	36	35	詳細不明										
40	73	39	10	28	1	3	19	0	5	0	1	78	15	1	14	1	1	9	0	3	0	0						
41	55	32	12	19	2	0	13	0	4	0	1	42	23	5	18	0	0	17	0	1	0	0						
42	45	22	3	17	0	2	10	0	5	0	2	33	18	3	14	0	0	10	0	4	0	1						
43	52	24	5	19	0	0	14	0	5	0	0	38	17	4	13	0	0	9	0	4	0	0						
44	70	33	8	24	1	1	17	0	5	0	1	30	14	4	6	0	0	4	0	2	0	4						
45	35	21	6	15	0	0	12	0	3	0	0	36	16	4	10	0	0	7	0	3	0	2						
46	56	36	7	24	2	1	16	0	5	0	5	36	18	4	13	1	1	8	0	3	0	1						

表4 児童事故死年次推移

5~9才		男											女													
昭和	全死亡計	事故死計	事故死の内容											全死亡計	事故死計	事故死の内容										
			BE47	BE48	BE48の内容					BE49	BE50	BE47	BE48			BE48の内容					BE49	BE50				
			自動車事故	不慮の事故	その他の交通事 a 自動車の 以外	b 不慮の墜落	c 不慮の溺死	d 天災	e その他	自殺・自傷	戦争行為	他殺	自動車事故			不慮の事故	その他の交通事 a 自動車の 以外	b 不慮の墜落	c 不慮の溺死	d 天災	e その他	自殺・自傷	戦争行為	他殺		
10	271	37	←詳細不明											228	13	←詳細不明										
25	172	37		36	※不慮の事故					中毒	暴力	0	1	178	17		16	←※						0	1	
30	142	59		58	←※					42	16	1	0	97	17		17	←※						5	0	
35	73	37	3	33	0	2	25	3	3	0	1	57	13	0	12	0	1	7	0	4	0	1				

36	100	49	5	41	5	2	28	0	6	0	3	55	14	1	10	1	1	4	0	4	0	3	
37	60	36	6	29	2	2	22	0	3	0	1	42	12	5	6	0	0	3	0	3	0	1	
38	70	35	5	29	0	1	26	0	2	0	1	26	10	4	6	1	0	2	0	3	0	0	
39	51	26	26	詳細不明								21	8	8	詳細不明								
40	50	19	3	16	0	0	16	0	0	0	0	24	5	2	3	0	1	2	0	0	0	0	
41	31	13	3	9	1	0	8	0	0	0	1	21	7	2	5	2	0	3	0	0	0	0	
42	29	19	6	13	1	0	6	0	6	0	0	17	10	3	6	0	0	3	0	3	0	1	
43	27	9	4	5	0	0	4	0	1	0	0	17	5	2	3	1	0	1	0	1	0	0	
44	32	23	11	12	0	1	11	0	0	0	0	20	8	7	1	0	0	1	0	0	0	0	
45	26	11	7	4	0	0	3	0	1	0	0	13	10	6	4	0	1	3	0	0	0	0	
46	30	21	7	13	1	0	5	0	7	0	1	16	8	6	0	0	0	0	0	0	0	2	

ている。女子の場合でも50%の率をしめている。さらに、その内容を見ると、溺死と、自動車事故が大半であるが、その中でも、溺死は年々減少しているのに対し、交通事故はほとんど変わらない件数が続いている。

なお、注目しなければならないのは、43年以降、0～9才までの他殺が、43年に10名、44年9名、45年4名、46年17名となっていることである。

7 子どもの養育者について

表5は、38～39年に秋田県本荘保健所管内（1市7カ

表5 養育者の地区別年度別比較

区分	都市近郊		平地農村		農山村		
	38～39	47	38～39	47	38～39	47	
年度別	38～39	47	38～39	47	38～39	47	
調査数	358	1,870	425	523	742	380	
事項	母	286 (79.9)	1,578 (84.4)	174 (40.9)	328 (62.7)	233 (31.4)	257 (67.6)
	祖母	53 (14.8)	154 (8.2)	214 (50.4)	126 (24.1)	450 (60.6)	81 (21.3)

注 昭38, 39, 本荘保健所管内1市7カ町村
昭43, 県内39市町村

町村・旧町村単位4町18村)を農林省経済地区帯区分一分類基準により、都市近郊(本荘市)、平地農村、農山村に分け、乳児健診の場を用いて、養育者状況を調査した結果と、昨年(47年)6月～12月までの県内39市町村の乳児健診実施の際、同じく調査した結果を比較したものであるが、10年前の農村部における保育の主体が祖母に重きをなしていたのが、次第に母親の手にゆだねられる傾向になってきたことが伺われる。このことは、表6の今年乳幼児家庭環境調査を実施した本荘、矢島地区の5市町村、8保育所の結果からも同様の傾向がみられ

表6 養育者の地区別年度別比較

区分	都市近郊		平地農村		農山村		
	38～39	48	38～39	48	38～39	48	
年度別	38～39	48	38～39	48	38～39	48	
調査数	358	158	425	296	742	400	
事項	母	286 (79.9)	118 (74.7)	174 (40.9)	139 (47.0)	233 (31.4)	225 (56.3)
	祖母	53 (14.8)	29 (18.4)	214 (50.4)	129 (43.6)	450 (60.6)	137 (34.3)
	母祖母	7 (2.0)	3 (1.9)	7 (1.6)	14 (4.7)	4 (0.5)	27 (6.8)
	その他	12 (3.4)	8 (5.1)	30 (7.1)	14 (4.7)	55 (7.4)	11 (2.8)
	お毎ますかあ新かえさんを見	220 (61.5)	92 (58.2)	191 (44.9)	114 (38.5)	259 (34.9)	127 (31.8)
	100 (27.9)	12 (7.6)	140 (32.9)	60 (20.3)	398 (53.6)	95 (23.8)	
	38 (10.6)	54 (34.2)	94 (22.1)	122 (41.2)	85 (11.5)	178 (44.5)	

注 昭38, 39 本荘保健所管内1市7カ町村
昭48 本荘、矢島地区5市町村8保育所

る。しかしながら、まだ世帯のほとんどが3～4世代家族の農村部で、このような表の数値にあらわれない嫁の座からの母親の立場として、保育の実際からみて壁は厚いとみななければならない。そのことは、例数は少ないが、母親が毎日新聞を読む機会は、10年前の比率と異ならず、全く読まないから、時々読む方向へと移りつつあるが、新聞を配達される家庭が多くなったことの影響も決して少なくないと思われることより、母親の家庭生活の実態は、大して変りないのではないかと想定される。

8 子どもの発育について

我々は、38～43年までモデル地区を設け、乳幼児の発育調査をした。すなわち、

- (1) 本荘保健所管内(1市7カ町村)
- (2) 由利郡鳥海村(典型的農山村)
- (3) 南秋田郡昭和町(半農, 半都市)

表8 三才児健康診査アンケート記載状況

秋田県 昭41.42・43

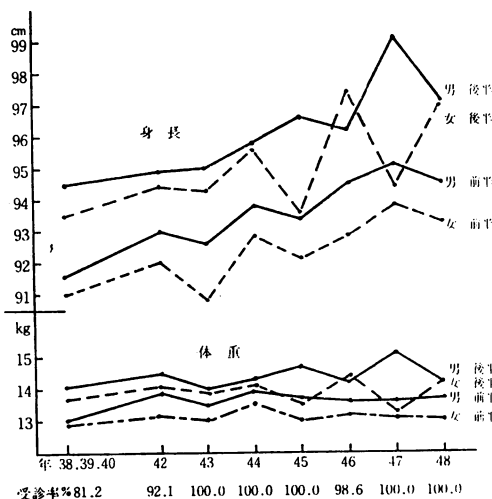
表7 乳幼児発育調査地区

地区名	年	男子	女子	計(延)	検診実数	受診率	
乳児	本荘管内	38	1,576	1,477	3,053	1,300	81.3
	鳥海村	38.39.40	1,130	976	2,106	688	93.5
	昭和町	41.42.43	750	657	1,407	502	85.4
計		3,456	3,110	6,566	2,490		
3才児	本荘管内	37.38	685	777	1,462	2,067	79.6
	鳥海村	38.39.40	209	238	447	526	81.2
	昭和町	41.42.43	157	152	309	391	92.4
	計		1,051	1,167	2,218	2,984	

で、実施年度、調査数、受診率等は表7に示すとおりである。

勿論個々の町村において、それぞれの問題はあるにしても、例えば図1に示す、鳥海村(農山村)3才児10年

図1 鳥海村3才児平均身長体重年次推移



間の身長・体重平均値をみてもわかるように、計測の上からみて、年々ののび率はすばらしいものだった。

最近の子どもの発育は、本県においてもたしかに上昇しており、地域差も少なくなっている。我々の少ない成績からの速断は、早計であるが、県内の傾向の一端を伺い知ることが出来ると思われる。

9 精神発達について

表8は、本県3才児健康診査アンケート(東京都三才

保健所名 アンケート	秋田県		中野北		目黒		大島	
	例数	10.0 35に 対する 比	例数	92に 対する 比	例数	98に 対する 比	例数	22に 対する 比
1 コトバのおくれ	985	9.8	8	8.4	4	4.1	4	6.3
2 発音	1,507	15.0	10	10.8	11	11.2	5	7.8
3 運動	490	4.9	2	2.2	0	—	0	—
4 歩き方	272	2.7	1	1.1	8	8.2	2	3.1
5 手先の動き	328	3.3	2	2.2	1	1.0	0	—
6 耳	83	0.8	3	3.3	0	—	1	1.6
7 目	488	4.9	7	7.6	7	7.1	0	—
8 食事	2,085	20.8	17	18.5	20	20.4	16	20.5
9 排尿便	631	6.3	10	10.8	12	11.2	6	9.4
10 夜の睡眠	468	4.7	5	5.4	5	5.1	1	1.6
11 言うことをきかない	2,093	20.9	7	7.6	16	16.3	8	12.5
12 不安やおそれ	1,003	10.0	9	9.8	12	11.2	0	—
13 ひどいくせ	1,075	10.7	9	9.8	4	4.1	2	3.1
14 大人にたよる	3,297	32.9	21	22.8	14	14.3	14	21.9
15 友達とのあそび	791	7.9	5	5.4	11	11.2	8	12.5
16 かぜをひきやすい	1,708	17.0	16	17.4	12	12.2	8	12.5
17 ひきつけ	969	9.7	7	7.6	9	9.2	2	3.1

児健診研究会案)の、41、42、43年に行なった10,035名の母親の記載状況である。これをみるに、言葉の問題、食事、言うことをきかない、不安やおそれ、ひどいくせ、大人にたよる、などについて母親が疑問や、不安を持っていることが伺われる。

一方、本県において、昨年より乳児の精神発達の一指標として、乳児の行動発達の状況をアンケート方式として、乳児健診の際に、案内状と共に送り、母親や家族と質問しているが、47年度の本県39市町村のアンケート解答状況を見ると、たとえば、3~6カ月児について、「音のする方へすぐ向きますか、あやすと笑いますか、まわりのものをよく見つめますか、首はしっかりすわりましたか、ねがえりはできますか、おもちゃでよく遊びますか」などの質問に対し、3,802名の中 19.4%がよくわからないと答えている。3カ月児のみ 2,773名の中では 22.9%が不明となっている。2才頃になるとかなり明確な解答をしていることなどにより、乳児期のあいまいな答は、その面の知識の少ないこと、祖母中心の育児環境

になりやすいなど、母親が十分な観察が困難な場合もあるのではないかとと思われる。

B 親子の接触について

47年11月本県の典型的過疎地区である、雄勝郡東成瀬村(人口4,443人)、皆瀬村(人口3,805人)、由利郡鳥海村(人口9,834人)において、5才児の長子97名の家庭環境調査を実施した。この調査は、大妻女子大学、平井信義教授を中心に、児童学科、食物科において、「児童の生活構造の時代的変動に関する総合的研究」として調査班が偏成され、46年度過密都市(東京都)の調査を行ない、過疎地区として本県の上記3村が選定されて行なわれたもので、当衛生科学研究所母子衛生科も、共同研究の形で参加したものである。調査票は、平井教授外、大妻女子大学調査班において作成され、東京都で用いたものに、多少、秋田の農村の特色を入れたものである。

調査方法は、調査票(アンケート方式)をあらかじめ各家庭に配布して、家族で十分に話し合いながら記入してもらい、母親に子どもを同伴で調査票を持参していただき、会場でさらに面接調査を行なった。

まだ、完全にまとめの段階ではないが、親子の接触に関連ある項目は、今回の調査班の主目的にも参考になると思われるので、平井教授ならびに研究班員の方々の御厚意で、本報告にのべることを御快諾いただいたので、表9の紹介かたがた私見をまぜ少しくのべてみたい。

表9 親子の接触について(5才長子)
秋田核・複合家族・東京核家族 昭47.11

質問項目	地域別		秋田	東京
	調査数			
			97	97
1 子どもの世話(母親)	十分に		3.1	48.5
	普通		78.4	48.5
	なかなか		18.6	3.1
1 子どもの相手(父親)	十分に		5.2	27.8
	普通		40.2	27.8
	たまに		40.2	39.2
	ほとんどなれない		14.4	5.2
2 保育者(過去)	母		39.2	2については東京での質問項目なし
	祖母		45.4	
	母+祖母		8.2	
	その他		7.3	

保育者(現在)	母		52.6	
	祖母		34.0	
	母+祖母		8.2	
	その他		5.2	
3 食事は誰がつくるか	母		46.4	東京での質問項目なし
	祖母		46.4	
	母+祖母		7.2	
3 誰と食事をするか(朝)	全員		87.6	41.2
	母-子		2.1	43.3
	子のみ		3.1	12.4
	いろいろ		7.2	2.1
3 誰と食事をするか(夕)	全員		84.5	38.1
	母-子		1.0	41.2
	子のみ		0	11.3
	いろいろ		12.4	9.3
3 全員でする回数(1週間)	なし		1.0	2.1
	1回		1.0	19.6
	2回		4.1	17.5
	3回		4.1	14.4
	4回以上		78.4	46.4
4 テレビ視聴	親子でいつも		46.4	49.5
	親子で時々		52.6	48.5
	ほとんどみない		1.0	2.1
5 誰と寝るか	父母、祖父母と別の部屋に1人		4.1	21.3
	父母、祖父母と同じ部屋で1人		30.9	73.2
	祖父母と同じ部屋で		28.9	0
	父母、祖父母と同じ床でねる		36.1	5.2
6 レジャー	①いく		29.9	71.1
	②いかない		69.1	28.9
	①の場合、誰といくか			
	家族全員でいく		65.5	—
	父-母-子		13.8	79.7
	母-子		8.4	17.4

なお、この表をみる上で、あらかじめおことわりしなければならぬのは、家族形態は、東京は核家族のみを対象とし、秋田はほとんどが3-4世代家庭であること

また、父母の就業状況は、東京の場合は、父親の69%はホワイトカラー又は専門管理者であり、母親の97%は主婦業である。これに対し、秋田は農業が主で、父母は祖父父母の主導権下に生活している家庭が多く、両地区に明らかな背景の相違のあることである。

1 「お母さんは、おこさんの世話がよくみられますか」

「お父さんは、おこさんと遊びますか」

お母さんが世話を十分にみられるのが秋田 3.1%、東京48.5%、普通が、秋田78.4%、東京48.5%である。

秋田の場合、十分にみられる比率は、農作業の多い、祖父母と同居の農村家庭として、もっともと思われる。普通の比率が思いの外、多いが、この普通のあり方が、おそらく東京と大分異なるのではないと思われる。同様に、父親の子ども相手も十分に5.2%、普通が40.2%であるが、実際面については、東京の場合と、それぞれ、相当のちがいがあって考えねばならない。

秋田の農村の父母は、子どもとの接触を気にしているが、祖父母にまかしている状態であり、そのようにならざるを得ない背景に、労働の問題がある。一方、積極的に子どもと接することへの気はづかしさは、父親の方に強いようで、その上、仕事と祖父母の間であって、小さい子どもは、女にまかせておけばよいという気風はまだ根強い。

2 「これまで誰が主としておこさんを育ててきましたか」

「現在誰が主としておこさんを育てていますか」

過去において、母39.2%、祖母45.4%だったが、現在、母52.6%、祖母34.0%となっている。このことは、さきに秋田県の現状において、子どもの養育者についてのべたとおり、次第に両親の手に移行しつつあることはたしかである。乳児健診においても、母親同伴の子どもが多くなってきているが、子どものミルクの量や種類など具体的なことになる、はっきりしない母親も珍らしくなく、祖母が手をかけて、母親は働らきに出ていることがわかる。農村の母子保健の上におおわれている壁は、年々少しずつ打破られているが、努力はまだまだ続けなければならない。

しかしながら、3—4世代家族の、子どもに対するよい面も否定されない。一方において、市部の核家族の増加にあわせて、勤労女子の増加に伴ない、若い母親の就業者の増加など、市部も農村もそれぞれに育児の問題が大きくふくらんでいることを痛感する。

3 「食事は誰がつくりますか」

「食事はいつも誰としますか」

「お宅では1週間のうちで(日曜日を入れる)夕食を全員でするのは何回ぐらいありますか」

母、祖母それぞれ50%の割合で食事をつくっているが、経済を含む家庭のさい配は祖母の場合がまだ多いようである。母親は、若い労働力として外で働く機会が多いことが伺われる。

食事を家族全員で揃って食べる家庭が秋田、朝87.6%夕84.5%、東京、朝41.2%、夕38.1%で、秋田が東京に比しはるかに多い。このことは、3—4世代世帯の昔からの風習と、農業を主としている家内作業が多いことから、当然と思われる。

一週間の中で、全員で食事する回数が、4回以上は、秋田87.4%、東京46.4%であり、この面でも、一家揃って食事をする光景がよく伺われ、このような家庭環境は残ってほしいものと思われる。

4 「テレビを親子でみることがありますか」

親子でいつもが秋田46.4%、東京49.5%とほぼ同じ比率である。秋田の農村では、就寝も早く、日中はほとんど作業に出ている場合が多いことなどにより、見方、時間帯などこの成績は秋田の場合、検討してみてもよいのではないと思われる。

5 「おこさんはひとりてねますか」

秋田の場合、祖父母と同じ部屋で28.9%、父母、祖父母と同じ床で36.1%、計65.0%で、この項目からも祖母との関連は、日中の労働時間のみではないことが伺える。

6 「家族で一定期間をとって、遊びに出かけることがありますか」

レジャーとして、家族で遊びに出かける場合が、秋田で29.9%、東京71.1%である。秋田の場合、その中家族全員でいくが65.5%と、祖父母と共に大半で、主導権の問題が関連しておられると思われる。

この外、屋内の遊び相手を、父母について比較してみると、秋田では父又は母のどちらも子どもの遊び相手にはなっていない。ほとんどが弟妹、祖父母と遊んでいることが多く、はじめの、お父さんの子どもの遊び相手の項の解答が、十分に5.2%、普通が40.2%となっていることに、いささか疑問が出て来る結果となった。

以上、親子の接触についてのべたが、これだけの少ない質問項目を通してみただけでも、親子のふれあいの中に、必ず祖父母、殊に祖母の存在を重視しないわけにはいかない。秋田の農村の家庭環境の特色としては、

a 3—4世代家族で経済と育児の主体が祖母にあるこ

と。

b 父親は労働に従事し、出かせぎその他で3~6カ月間は家にいない場合などもあり、一方、母親の労働もかなり多く、子どもとの接触を気にしてはいるが、祖母に実権をまかせている。あるいは、まかせざるを得ない状態の家庭が多い。

こうした状況は、農業形態があくまで家内労働として、改善もみられず今日に至っていることと共に、家庭内育児環境もそのまま続いていることで、母親が自覚しても結局、壁に突き当たるということがくりかえされている。本県において、40年より、毎月第3日曜日を「家庭の日」として、公共行事その他をとりやめ、親子で一日ゆっくり楽しむことを提唱してすでに7年を経過しているが、農村ではほとんどとり入れられていない。

しかしながら、個々の母親の意識は、その年代においても、それぞれに異なり、嫁の座は同じでも10年前の育児態度とは、はるかに異なり、かなり積極的な姿勢が感じられる。今ここに具体的には表現出来ないが、農村の3~4世代家族は、すこしづつ変化していることはたしかである。

C 市町村、保健所保健婦、保育所保育士の座談会報告

今回、子どもの家庭環境調査を行なうにあたって、愛育研究所アンケート調査実施市町村としてお願いした1市4町村、8保育所に従事する保健婦、保育士を中心に「子どもの家庭環境」と題して座談会を行なった。第一線で活動している方々の、生の姿がわかると思われるので、座談会の進行にあわせて状況を報告する。

開催日 昭和48年3月15日

場所 秋田県衛生科学研究所

出席者

保健婦 岡本カネミ（本荘市保険衛生課指導係長）

〃 田口 明子（岩城町役場）

〃 村上 明子（鳥海村役場）

母子係 佐藤マサ子（鳥海村役場）

保健婦 宝池 律子（西目村役場）

主任保育 佐々木敏子（道川保育所）

〃 堀井 洋子（亀田保育所）

〃 菊地ハマ子（西目保育所）

保育 小松 郁子（石沢保育園）

〃 岸野キヨ子（松ガ崎保育園）

保健婦 伊藤ナツノ（本荘保健所）

〃 木内 和子（〃）

医師 伊藤 玲子（衛生科学研究所生活科学部長）

司 会

保健婦 佐々木芳枝（衛生科学研究所主任技術員）

司 会 これから、こどもの家庭環境について座談会を行ないたいと思います。今日皆様をお願いいたしましたアンケート用紙（別紙参照）を中心に進行させていただきますが、皆様の地域の状況や、それに合わせて日頃のお考え、御意見をのべていただければ幸いです。勿論アンケートにとらわれず、広きたんのないところも大いにのべていただきたいと思います。

それでは、住居についておききします。

保健婦 マンションなどはない。最近の農村の傾向として、住宅の新築、改築が盛んになっている。きそって大きい家を建てる傾向が多く、生活に対する計画性はどうか疑問である。業者のすすめで、都会的なものをそのまま受け入れている面もあると思う。

保健婦 未熟児が生れたので、その家庭訪問したら、家を建築中だった。祖父母の隠居所を別に建て、インターホンで若夫妻と連絡出来るようにしてあり、とても文化的のようにも思われるが、旧来の農村家族構成の中の、核家族と思われるような生活様式が、子どもにどんな影響を与えるものかなど考えさせられた。今後、このような家が多くなるのではないかとと思われる。

保健婦 暖房は、ほとんどの家庭が石油ストーブになった。（私の家はまだ薪を用いているが）クーラーは普及していないと思われる。私の部落に一軒完全冷暖房の家がある。総検造りの立派なお宅です。

保健婦 国道近くの家はうるさくて、とても危険である。

司 会 お子さんの遊びについておききします。先づ、おたくには、子どもの専用遊び部屋（子ども部屋を含む）がありますか。

保 母 家を新築する時、子ども部屋として作っても子どもが小さいと使用しないで空部屋になっているところが多い。別のことに用いている。

保 母 子どもが保育所に入る頃になってから使用させるようだ。

保 母 子ども部屋がない家でも、学校に入る頃になったら勉強部屋として作ってやる場合が多い。

司 会 家の中で子どもが遊ぶ時、その相手を誰がしますか。

保健婦 近所に友達がおれば、その子どもと遊ぶが、友達のいない子はおぼあちゃんと遊ぶ場合がほとんどである。

保健婦 ほとんどの母親が働いているので、祖父母が遊び相手になる。

保健婦 保育所に全員入っているわけではないので、近所の子ども達とも遊ぶが、大半の遊び相手はおばあちゃんになる。

保母 保育所から帰って、友達と遊ばないで、テレビを見て過ごし、やがて夕食となり、寝る時間を迎える子どももいる。

保母 全員保育所に入っているわけでもないといわれましたが、原因は距離の問題、(交通)と保育料とが関係していると思う。保育料は、母子家庭は無料、その保育所により多少差がありますが、最低2,500円~3,000円最高6,000円位となっている。

保母 マイクロス等で、交通の問題が解決しても、保育所定数(例えば道川保育所定員60名)の問題がある。

保母 祖父母が子どもの面倒をみってくれるので一年保育だけでよいと思っているお母さんも多い。

司会 車で保育所へ通う人がいますか。

保母 車で送迎される子どももいるが、数は少ない。(道川保育所)

保母 石沢保育所はマイクロスを用いているが、父兄が停留所まで送ってくる。

保母 普通一般のバスで通っている子どももいるが、大人の出勤時間と一緒になので、混雑してとてもあぶない。

保母 本荘はマイクロスで2回に分けて送迎している。

保母 松ガ崎は、羽後交通バスを利用している。

保母 鳥海村はマイクロスを使用していない。

保母 農繁期と農閑期では、保育の事情もちがって保育時間も長くなる。

保母 保育所に入っていない子どもに対して、児童館、その他を利用して、季節保育所が設けられる。しかし、これも保育所増設でとりやめの部落も出て来た。本荘市は昨年2カ所とりやめになった。

司会 子どもの「おもちゃ」について伺います。保育所の流行の「おもちゃ」は何でしょうか。

保母 男の子は怪獣、女の子はぬいぐるみ、折紙、絵本などが多い。

保健婦 赤ちゃんは、オルゴール、おきあがりこぼし、その他今流行の美しいのいろいろあるようだが、訪問などしてみると、大体タンスの上などに飾っている家が多い。

保健婦 赤ちゃんのそばにあるものは、おしゃぶり、ガラガラ、ボールなど多い。天井から下げて手でひっぱるようになっている。

司会 主に誰がお子さんにおもちゃを買って来ますか。

保健婦 家族がそれぞれ買って来るようだ。

保健婦 祖父母が多く買って来る。

保健婦 農家の嫁さんなどでは、実家から買ってもらう人も多いのでは——?

保健婦 おたん生日や、クリスマスなどのお祝いに頂戴したり、買ったりするものも多い。

保母 保育所に入る頃になると、母親が多く買うのではないかと思う。

司会 育児についておききます。お父さんと、お母さんが育児について話合われることがありますか。

保母 このようなアンケートを出した場合、「時々」の項に多くマルがついて来る。アンケートの項目が都会的で、農村向でない感じがする。

保母 農村の場合は、祖父母が多く保育にタッチしているのです、どうしても祖父母の主導権が強い。

司会 お父さんは育児にどの位関心を持っていますか。

保健婦 関心は持っているが、大抵の人は態度にあらわさない。

保健婦 祖父母の保育に対する主導権が強いので、保育に対する意志表示を遠慮している人が多いように思われる。

保健婦 家庭訪問などで、たまたま父親だけいる場合は、結構、保育に関心を示し、質問も多い。

司会 お父さんは、お子さんにどんなことをしてあげますか。

保健婦 休日に外へ遊びにつれて行く、本を読んであげる、入浴の世話、時には大小便の世話、衣服の着脱の世話などしている場合もみられるが、全部のお父さんとは勿論云われない。ただ、以前よりそのような世話をするお父さんが多くなったことはたしかだと思ふ。

司会 お父さんは、お子さんのしつけに対してどんなですか。

保健婦 一般に過保護型が多いように思われる。

保健婦 父親は、朝早く仕事に出かけるため、子どもにタッチする機会が少ないので、家にいる時は、つい過保護型になりやすいのではないかと思われる。

保健婦 鳥海村などは出稼ぎでお父さんが家にいない家庭も多い。

司会 お父さんは、お子さんと一緒に食事をすることがありますか。

保健婦 どちらかというと朝より夕食の方が、一緒の機会が多いのではとないかと思う。

保母 出稼家庭も含めて、お勤めの関係でさまざまである。

司会 お母さんは「しつけ」に対して、どのようにしていますか。

保健婦 父親と同様甘いと思う。前にも出たが、若夫婦は朝から夜まで外に出て働く人が多いので、家にかえると子どもにおぼれるのではないか。

保健婦 3才児健診などでも、気になるが、以前よりボタンかけや、身の回りの仕末が出来ない子どもが多いような感じがする。別にはっきり調査したわけではありませんが。

司会 お母さんは一日どの位の時間、お子さんの相手になっておげますか。

保健婦 平均30分～1時間位ではないかと思われる。

保健婦 乳児の場合は、夜に添いねとか、母乳をだらだら飲ませるという場合もまだまだみられる。勿論以前より少なくなりましたが。

保母 お母さんは、多忙なので、特別相手にならなくても、子どもはテレビを見ている。その状態を仕事をしながら眺めて、子どもに話かけたり、相づちを打ったりする状況もよくみかける。しかし、子どもは4～5才になると、親よりテレビの方に関心があるのでは？

司会 お子さんは、夜誰とねますか。

保健婦 両親と同じ部屋に、床だけ別にするという場合が多いのではないかと思う。

保健婦 地域によっては、おばあさんと同じ部屋でねる。殊に弟や妹が生れると、長子はおばあさんというのが珍らしくないと思う。

司会 子ども用の便器がありますか。

保健婦 子ども用の便器を備えている家もあるが、大部分は大人がダッコしたり、手助けしたり、大人用の便所を使用している。

保健婦 田舎の古い家は、外に便所があるので、便器を使用している家も多い。

司会 子ども用のベットがありますか。

保健婦 赤ちゃんベットは普及してきた。

保健婦 幼児になるとまだまだ少ないのではないかとと思われる。

司会 子ども用の衣類をお母さんがつくることがありますか。

保健婦 一般には既成のものが利用されていると思う。上着は、お母さんが作る人もいろいろある。

保健婦 秋田市も郡部も、同じような服装の子どもが多くみられるようになってきた。

保健婦 おばあさんの中には、孫に「ゆかた、や、よそ行の着物を縫ってくれる人もいる。七五三のお祝いの頃、実家から、祖母(母方の)からのプレゼントのような形で手作りをもらう場合もある。

司会 食物の方はどうでしょうね。

保健婦 母親の手作りが割合多いと思う。勿論、インスタントラーメンや、ソーセージなど買ったままのものあ

る。

保健婦 衣類の場合は、手作りや既成品とは費用の点で大差がないのではないかと思う。むしろ既成品の方が安く、アップリケや刺しゅうなどして見ても美しい。一方、食物は、インスタント食品といっても結構値段が高く、畑のいもや、豆、自家の卵など手作り食品の方が安いようである。

伊藤 アンケートの「手作り」のねらいは、母親の愛情も含めたところを得たいものと思うが、農村の場合こうした意味の「手作りのもの」を与えているお母さんの状態はどんなようなものであるのか、この辺の問題点を本当に浮きぼりしてみると、農村の親子のふれ合いの生の姿が出て来るのではないかと思われる。

司会 お子さんが一日中でテレビを見る時間はどの位ですか。

保母 3時間以上は見ているのではないかと思う。

保母 ごはんを食べながらの場合がほとんどと思われる。

保母 テレビの音がしていないとだめだという子どももいる。テレビのない部屋で食事をさせると、食事をしないでテレビを見ているというトラブルは日常この家庭でも見られるようだ。

保健婦 テレビの影響について、時々新聞や雑誌にのっているが、果してどんなものでしょうか。今回、国の方針で正常児の家庭環境の調査を行なうということで、アンケートにもテレビのことがのっているがテレビと子どもの関係は、全国的に極めて重要な問題と思われる。スピードの出る車を買わせて、スピード違反をおさえると同じように、面白い番組を次から次へと流して「みるな」ということはどんなものでしょうか、私も幼児と小学生の母親としてほとんど困っている。

司会 お母さんの育児に関する知識は主にどこから得られるのでしょうか。

保健婦 保健所や町村の育児相談の場など大変よろこばれていると思う。

保健婦 家族や近所の人々の口こみも影響が大きいと思う。殊に祖母の場合は強い。

保健婦 しかし、乳児健診の場で感ずることは、読んで覚えたことと、実際とは異なるということで、このことは私共との話し合いの場で覚えたことについても言えると思う。知っているが、「やらない」ということですね。

保健婦 「やらない」ではなく、「やれない」のではとも思われる。乳児健診で、先生がこう話したとか、保健婦がこう教えてくれたと、家に帰って祖父や夫に話出来る方がまだやりよいのではないかと思う。

保健婦 時には、乳健に来て、一度家に帰り、又祖母

を連れてきて、もう一度話をしてほしいという嫁さんもあり、自分からだけの話では信用されないということですね。

司 会 保育所から帰って、家に誰もいない家庭はありますか。

保健婦 ほとんどの家庭に、おばあちゃんがいる。

保 母 おばあさんのいない子どもは、保育所に居残りして、親の帰りを待っている。

保 母 家族が帰って来るまで、ピアノ、書道など、おけいこに通い、家族の帰宅時間にあわせているところも本荘市などにみられる。

保 母 そういう子どもは、ほんの一部に限られており、西目村などはごく少ない。

保 母 おけいこに通う子どもは、鳥海村にはいないと思う。

保 母 テレビがあるので、結構淋しくなく過ごしている子どももいると思う。

司 会 テレビや、車の普及状態はどうでしょうか。

保健婦 西目村の場合、車の普及率は8割位だと思う。山奥や沢のあたりで5割位。テレビは、全戸にあるが、カラーテレビは、あまり普及していない。二台持っている家も多いと思う。

司 会 育児用品についておききたいと思いますが、差上げた一覧表の中で、気のついたことを教えて下さい。

保健婦 温浴計はあまり普及していない。

保健婦 どの家庭でも、この一覧表にあるものが全部揃っているわけではないが、私共保健婦として、見た、聞いたりしたことがないというものはないように思う。

保健婦 三才頃になると歯ブラシは、たいてい用いて

いると思う。うまくみがけることは別に。

保健婦 体重計も普及している。

司 会 アンケートにかかわりなく、全体的な御意見や御希望はありませんか。

保 母 お願いになりますが、保育所も子どもの健康の問題は、重要な任務の一つであり、最近乳児の要望がとて強くなっており、実際に無理して入れているところもある。保健婦さん方との交流を密にし、御指導をお願いしたいものと日頃考えている。現在のところ話し合いは、ほとんどない状態で、今日このような会合に出席できて有難いと思っている。

保 母 保育所から家に帰った子ども達の遊び場がなく困る。部落に遊び場を作っていただきたい。

保 母 母親が働いているため、子どもの保育について、祖父母に主導権があり、両親が主体となってくしつけ、をする家庭が少ない。祖父母の子どもに対する教育を是非考えてほしい。

保 母 保育所が遠いので、各部落毎に、保育所があればよいと思う。

司 会 今日は、皆様の日常の体験を通しまして、貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。

参 考 文 献

- 1 秋田県勢要覧 昭和47年版 秋田県
- 2 秋田県衛生統計年鑑 昭46 秋田県
- 3 秋田県衛生科学研究所報 9輯 昭40
- 4 " 13輯 昭44
- 5 小児保健研究 24 (5) 203~206 昭42
- 6 " 28 (2) 86~ 92 昭45